



デイパあかねを開設して間もない平成四年から始めたあかね祭も今回で十九回目。地域とのふれあいをテーマに十月二十三日に開催しました。

茜会の各部所は、ご利用いただいている方や、近隣地域の方に楽しんでいただくよう創意工夫を凝らして準備を行いました。特に地域の方々とこのふれあいを大切にした催しを企画しました。

前々日から病院ホールには、老健やデイケア、リハビリ、あかねの里、吾亦紅からの作品や生活風景の写真をパネルにして展示しました。



絵手紙

この度、祭りを盛り上げてくださったのは四組のゲスト

あかね祭

地域とのふれあい

の方々です。女性の美しくしっとりとした踊りのプアレイラニのフラダンスや寿々波輝扇会の日本舞踊には、すっかり魅了されました。また磯部東幼保園の踊り、坂井市内



そば作り

金子宏祥 海道清次 小見山俊之

で活動されている東部キッズの銭太鼓では、小さい子供達が一生懸命に踊ったり、太鼓を叩いたりする姿に涙を流しながら見入る利用者の方もおられました。

体験コーナーでは、ペーパーフラワーの荒木慶子先生が可愛いガーベラの花作りを教えて下さり、前澤君子先生が絵手紙をご指導下さいました。ご家族と一緒に参加された利用者の方は「いい思い出になりました」と、嬉しそうに出来上がった作品に目を細めていらっしやいました。

模擬店では、地元「蕎麦の会」の皆さん六名のご協力です。美味しい手打ちそばが振る舞われ大好評でした。たいやき、おはぎ、炊き込みご飯も

完売でした。

新しく開設した有料老人ホーム「われもこう」では、二十名余りの見学者があり、どの方も玄関に入るなり「あ、木のいい香り」と言っていていました。口々に「こんな所に住めたらいいのお」「将来お世話になれる場所が近くにある」というのは心強いわ」との声がありました。

入所者の誘導や模擬店の準備などをお手伝い下さった「ボランティア磯部」や地域の方々のご協力のおかげであかね祭が無事開催できました。



日本舞踊

本当にありがとうございました。

院長一言

寒い朝

一昨年暮に動悸と不安発作に罹りテレビを見ず新聞も読まない時期がありました。九月も中旬頃のことです。家内の部屋から懐かしい歌謡曲が流れるので立ち止まって、テレビを見ました。佐伯孝夫特集で十数曲あった。八十歳の三浦浩一も出演しているなど、いずれも名曲でした。特に、「寒い朝」を聞いていて途中涙が出そうになりました。M北風吹きぬく寒い朝も心一つで暖かくなる・・・北風の中にきこうよ春を。

今、病気で療養中だがきつと治って元気になるからと、あの濃厚な佐伯おじさんが呼びかけて呉れていると思えたからです。

人生には苦しみ、悩み、病むことがあり、誰もが経験し共感できるからこそ、この曲が傑作中の傑作である所以なのでしょう。動物も植物も寒い冬に耐えて春が来るのを待ち続けています。

